

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスひだまりa		公表日		令和7年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	1	・基本的にマンツーマン対応ではないが、必要に応じてより多く配置している。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	3		・構造化はあまりされていないと思う。 ・手洗い場の蛇口がホースタイプだと良い。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		・気付いたら早急に清掃や修繕を行い、清潔かつ心地よさを保つよう努めている。 ・除湿、加湿などエアコンを使用し快適さを保てるようにしている。	・引き続き、暑さ、寒さ、湿気対策に取り組んでいく。特に、aコーナーの暑さ対策が必要。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		・今年度、着替え（排泄介助）の部屋を増設した。2階の活動室やスヌーズレンも積極的に活用する。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7	2	・毎月末のスタッフミーティングで、活動内容・支援方法の振り返りは行っているが、目標設定はあまりされない。	・個別支援計画に関しては、ミーティング時に評価、計画を話し合ってきている。改善、実行、評価の一連の流れは未完全な部分がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9		・評価表以外にも、年2回の個別面談時に直接意向を伺い、改善できるところは改善するよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9		・スタッフ面談を年2回実施している。面談以外でも、気軽に意見を言い合える雰囲気を作れるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			8	・一度オレンジのスタッフがヘルプに入った際に、排泄介助の指摘を受け改善した。その他は特にない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8	1		・法人内では、義務化された研修以外は救急救命講習しか開催できなかった。外部研修の周知はしているが、積極的な参加には至らなかった。事業所内研修会を企画していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8		・年2回の個別面談時に伺い計画に反映、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9		・スタッフミーティングの中で時間を設け、スタッフみみなで評価、検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9		・個別支援計画は各児童の個別ファイルに入れ、スタッフみみなで共有できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2	7	・日々の行動、表情等による観察を行い、記録をしている。支援前後に確認をしている。	・標準化されたアセスメントツールによる評価は行っていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8			・「家族支援」「移行支援」「地域連携」の個別化が難しい。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・ひだまり、ひだまりα合同で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・四季、各行事における活動の内容は固定されているが、中でも変化させたり工夫している。児によって参加方法を変えたりもしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・身体への取組みや身辺自立等の個人の目標に合わせた個別活動と、週替わりの集団活動を組み合わせて作成、支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	5	・必ず毎回ではない。検討事項や申し送り事項がある時のみ打ち合わせを行っている。	・今後は毎日実施し、支援・活動内容の確認、児童や保護者の様子、職員の動向や健康状態等も共有し、連携した支援を行えるよう努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	・今回は行っていないが、必要時には行うようにしている。	・今後は毎日実施し、その日の様子や体調の振り返りを行い、伝達事項を伝える。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・複写式の連絡帳に記録をして定期的に振り返りを行っている。また、伝達事項、変更事項は個人ファイルに記入し共有している。	・個人ファイル同様、連絡帳を定期的に振り返る頻度を毎月末にできるといい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・年2回個別面談時にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		・4つの基本活動の詳細が分からないという意見があったので、スタッフミーティングにて共有をした。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・言葉がけに対する反応、表情の変化に気付けるよう努めている。また、必要に応じて、サイン、絵カード等を用いて、意志の表出を促している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者、また必要に応じて看護師も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・地域の保健以外は、必要に応じて連携して支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・学校で開催される事業所連絡会に参加している。他にもメール、紙面でのやりとりや送迎時に直接連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・法人内児童発達支援事業所と情報を共有している以外は、対象となる児童がいない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・必要に応じて情報提供を行ったり、見学も受け入れている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・機会があれば、積極的に研修を受けたり助言を求めている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・今年度は、夏・冬休みに、中原中学校オーケストラ部との交流の機会を持つことができた。公園やカフェでは積極的に関わりを持つようになっている。	・児童クラブや児童館との交流はない。他の子どもとの活動機会は少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	・柏市放課後等デイサービス連絡会に毎回参加している。今年度から、松戸市重症児通所支援連絡会にも参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・毎日のお迎え時に当日の様子や体調等を伝え、またご家庭の様子を伺うことで共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・今年度は「成年後見人」についての研修会を開催した。	・定例になっている、卒業後に向けた研修会以外にも、何かできればいいと考えている。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	・新規契約時、その後は必要に応じて適宜行っている。支援プログラムに関しては、ホームページ上に公開している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談や毎日のお迎え時に、保護者の意向を伺う機会を設けている。また、保護者の意向と子どもの意思が異なる場合は、どちらにも配慮するよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・面談時以外にも、お迎え時に積極的に声をかけ、ご家族の支援ができるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			・きょうだい同士で交流する機会は設けていないが、来年度、きょうだい児や保護者向けのワークショップを開催したいと考えている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情には迅速に対応している。苦情にまで至らない些細な気付きや要望を言いやすい雰囲気作りにも努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月、おたよりの配布とホームページ上のブログで活動の様子を発信している。	・SNSによる情報提供について検討してもいいかもしれない。コミュニケーションアプリのBandを有効活用する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・法人として年に一度、地域交流のための笑福祭を開催している。事業所では、夏・冬休みに中原中学校オーケストラ部に来ていただき演奏会を開催した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・マニュアルは策定している。感染症や緊急時の研修会のみ実施。	・防犯マニュアルは未策定。不審者に対する研修会の必要性の声は上がっているが実施できていない。 ・職員や家族等への周知が難しい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・今年度より研修・訓練が義務化されたことにより、行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	・服薬やてんかん発作等は随時確認している。	・服薬の変更を確認する機会が定まっていないため、保護者からの自己申告に頼っている。定期的に確認する機会を設けた方がよいか検討する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・保護者から、食物・薬に関するアレルギーの有無を聞き取り、緊急時対応が必要な場合は指示書を依頼している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・今年度から義務化されたことにより、実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・前期個別面談にて周知した。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・事業所内ヒヤリハットは早急に共有している。また法人内の事例についてもスタッフミーティング等で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・3月に実施予定。	・講師を招いての研修もあるといい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・安全のためやむを得ない場合については、保護者と話し合った上で個別支援計画に記載している。		